



市民歌が防災無線のチャイムに 1月1日から ～枕崎市民歌を広める会が市民歌パッケージを寄贈

■枕崎市民歌を広める会（椎原久昭会長）が11月27日、市民歌を防災無線のチャイムにするための市民歌の音源などを含むパッケージ一式（6万円相当）を寄贈し、市役所で贈呈式がありました。

同会の会合で、「市民歌を防災無線のチャイムに」という案が出て以来、資金集めの募金活動を始めました。きばらん海での市民歌アレンジコンテストや市制60周年記念式典、店舗に募金箱を置くなどして4か月で目標額に達しました。

椎原会長は「自分たちのまちの歌があるということは市民の元気の源となる。もっと市民歌が広まって同窓会やイベントなどで歌ってもらいたい」と語りました。これをきっかけに、更に市民歌が広まることが期待されます。ありがとうございました。



これまでの農業人生を見つめ直す ～毎日農業記録賞で優秀賞を受賞

■毎日新聞社主催の第37回毎日農業記録賞で近森ひろろさん（駒水町）が優秀賞に輝き12月2日、市長を表敬訪問しました。

東京で生まれ育った近森さんは、平成19年に夫の章さんとおじの暮らす本市に移住し、お茶農家として新規就農しました。作品では、どうして農業を始めたのか、そして鹿児島に来た経緯などを綴っています。作品について聞くと「全部書いたら気持ちはずっさりした。枕崎で暮らす覚悟を形にしたかった。ずっとここで生きていきたい」と語ってくれました。

鹿籠豚を学び そのおいしさに感激 ～修学旅行生が鹿籠豚でソーセージ作り

■埼玉県立和光国際高校の2年生11名が12月2日、市社会福祉協議会の調理実習室で鹿籠豚を使ったソーセージと豚汁を作る体験をしました。

これは、体験型修学旅行の受け入れをしている市内の3家庭が企画したもので、講師に鹿籠豚を生産している山口順郎さんを迎えて実施しました。

生徒らは鹿籠豚について説明を受けたあと、ミキサーで肉をミンチにし、それを豚や羊の腸に詰めていきました。初めての体験に苦戦しながらもなんとか作り終え、焼いたりゆでたりしてみんなでおいしく頂きました。

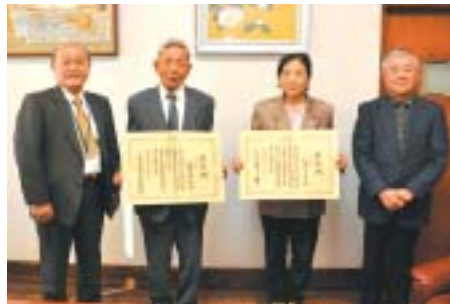
今回の修学旅行は2泊3日の日程で行われました。受け入れ家庭の一つである片山孝一さん、弘子さん夫婦は「火之神公園や白沢海岸などに連れて行った。修学旅行生の受け入れは、心と心のふれあいができるいい機会」と語っていました。



民主政治の確立・発展に尽力 ～選挙制度120周年記念表彰を受賞

■選挙制度120周年表彰で藤田博信さん（桜山上町）が内閣総理大臣表彰を、松山トミ子さん（桜木町）が総務大臣表彰を受賞し12月2日、市長を表敬訪問しました。

今回の表彰は、藤田さんは市明るい選挙推進協議会委員を25年4か月、松山さんは市選挙管理委員会委員を20年8か月務めるなど、民主政治の確立・発展に尽力されたことが認められたものです。おめでとうございました。



県下一周駅伝ランナーに勇気をもって ～別府小学校創立130周年記念 持久走大会

■別府小学校の持久走大会が12月10日、同小学校のグラウンドや周辺道路で行われました。

今回は、同小学校の創立130周年を記念して、県一周駅伝川辺チームの春松千秋監督と毎年活躍している3選手が児童を激励に訪れました。

児童は、1年生から順に600mから1.5kmのコースを、付き添うように走る駅伝選手に激励されながら懸命に走りました。1kmを完走した上之園匡志君（3年）は「一緒に走れて楽しかった。今、水泳をがんばっている。僕もすごい選手になりたい」と駅伝選手と一緒に走ることによって勇気づけられたようです。



枕崎の素材を生かした家庭料理134点 ～まくらざきハーモニーネットワーク『家庭料理大集合』

■まくらざきハーモニーネットワーク委員会主催の家庭料理大集合が11月14日、地場産業振興センターで開催されました。

地元食材を使った多彩な家庭料理が134点集まり、会場にはおいしそうな香りが立ち込めていました。当日は茶節作り体験コーナーや市茶業協議会による枕崎茶の振る舞いもあり、来場者は枕崎の味を堪能するとともに、食材の豊かさを再確認する機会にもなりました。

来場者が食べてみたいと思う料理に投票する人気投票では園田春美さん（大塚中町）の『魚フレークとごはんのミルフィーユ』（写真）が一番人気となりました。



初代チャンピオンに山口明日香さん ～T(茶)ー1グランプリ2009鹿児島大会

■かごしまお茶まつり2009が11月23日、かごしま県民交流センターで開催されました。そこで行われた『Tー1グランプリ2009鹿児島大会』で初代チャンピオンに山口明日香さん（立神小5年）が輝きました。

大会には、県内各地から小学4～6年生の児童約100人が参加。競技は『お茶に関するクイズ』、『お茶の種類当て』、『お茶のいれ方の実技』の3つの課題の総合点で競われました。

明日香さんの祖父母（写真：桜山東町）がお茶を作っているということもあり「おじいちゃんとおばあちゃんがとても喜んでくれてうれしかった」と笑顔で話してくれました。また、「今までよりお茶が好きになったし、枕崎のお茶をもっとたくさんの方が飲んでくれたらいいなあ」と話してくれました。



今年のほんかんは“あま～い”よ ～ほんかんの収穫が最盛期に

■12月の初旬、本市の特産品の一つである“ほんかん”の収穫が最盛期を迎え、黄色く実ったおいしそうなほんかんが畑を彩っていました。

写真は山口俊行さんの畑で出荷を待つほんかん。選別作業をしていた妻のスキさんに話をきくと「今年は豊作だった。とても甘くておいしい」とのことでした。旬の味をみなさんも堪能してみたいはいかがですか。